



災害発生時には消火・救助活動や水防活動、平常時には消火・防災訓練や救命講習会などを行う消防団員。今回は、各地区の消防団で基本団員として活動する大学生のお二人にお話を伺いました。

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」取材して、その人の言葉で四日市の魅力などをお伝えするコーナーです。

■CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

日時：6月1日～6月30日 月水金日 9：30・20：30
火木土 12：30・20：30

■CTY-FMで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。※本紙とは別の消防団員（大学生）も出演します

日時：6月10日・24日 8：54・14：54



八郷分団 ^{ひかる}花村光さん

■消防団に入ったきっかけ

大学で災害派遣のボランティアをしていて、その担当をしていた先生の勧めで消防団に入りました。消防団員は年上の人が多く、初めはちゃんとやっていけるか不安がありましたが、優しい人ばかりですぐに打ち解けました。いろいろな年代の人と話すことで、コミュニケーション能力も身に付きました。

■消防団での活動

普段は訓練や地域の人に向けた救命講習などを行っています。応急手当の指導員の資格も取り、誰かがけが

をしたり倒れたりしてしまったときに助けられる知識が得られました。

■今後への思い

長野県出身なので大学を卒業したら地元に戻りますが、そこでも地域のために何かをできる人間になりたいです。卒業までの1年間は、応急手当の知識を伝えたり災害発生時に何ができるか地域の人と一緒に考えたり、自分自身ができることを悔いの残らないようにやっていきたいと思います。



■消防団に入ったきっかけ

東日本大震災や熊本大地震の際に消防団が活躍して人の命を救ったというニュースを見たことがきっかけで、自分の家族やお世話になった地域に恩返しをしたいという気持ちで消防団に入団しました。

■消防団での活動

月に1～2回分団で集まり、消火栓の点検や防火啓発のチラシ配りなどを行っています。また、これからの季節は、プール開放に向けてAEDを使った応急手当



の講習を実施したり、消防操法競技大会の練習をしたりします。

昨年は三重県の消防学校へ研修に行き、他市町の消防団員と交流する機会がありました。他地域の消防団員と交流を持ち、困ったときは助け合おうという意識が芽生えました。

■今後への思い

消防団にもっと若い人が増え、一緒に盛り上げていけたらと思います。また、直近の目標としては、消防操法競技大会で上位を狙えるように頑張ります。将来は、防災に携わる職業に就きたいと考えています。



三重分団 ^{はじめ}近藤大さん

有料広告掲載欄



店頭・出張買取OK!
創業106年の歴史と信頼・実績!

紺文 智の屋小町

タンスの中に眠っていませんか？大量のお着物もお気軽に！

着物買取

貴金属・ジュエリーも高価買取中!



059-352-4253

■四日市市鵜の森1丁目7-13
■9時～18時(木曜定休)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。